



## ～冬休みの本の貸出について～

- \*冊数 無制限
  - \*貸出開始 12月17日(金)から
  - \*返却日 1月14日(金)まで
- 土日祝日、学校閉庁日は図書館もお休みです。

冬休み中も図書館が開いている日は自習や本の借りかえができます♪



## がんばれ まけるな 3年生～!

『受験生の心の休ませ方』  
(加藤諦三/著、PHP研究所/発行、2008年)



『受験生合格レシピ218』  
(成田和子/著、日本文芸社/発行、2004年)



『これが正解! ひとり暮らしスタートブック』  
(主婦の友社/編・発行、2013年)



『暮らしの絵本 お仕事のマナーとコツ』  
(西出博子/監修、学習研究社/発行、2006年)



小論文対策などの本を市や県の図書館から取り寄せることもできます♪  
取り寄せには時間がかかるので、お早めにご依頼ください。

4月からの  
新生活  
楽しんでください

## 読んでほっこり♪ ヨシタケシンスケさんの絵本

『なんだろうなんだろう』  
(ヨシタケシンスケ/著、光村図書出版/発行、2019年)

「学校ってなんだろう?」、「楽しいってなんだろう?」、「友だちって?」、「幸せって?」  
・・・なんだろうと考え出すと、止まらない、答えが見つからないこと、ありませんか? みんなで一緒に考えてみましょう♪



『ころべばいいのに』  
(ヨシタケシンスケ/作、ブロンズ新社/発行、2019年)

嫌いな人のことを考えている時、表紙の女の子のような顔になってしまうことがあるかも知れません。イラストにすると、可愛くて、ほほえましいです。高校生の皆さんが、嫌いな人がいて、こんな表情になってしまっても、きっと可愛いと思いますよ。



# 地方創生について調べよう！

「地方創生」とは、東京に人口を集中させるのではなく、それぞれの地域を住み良いものにして、日本の活力を将来的に維持させていくための一連の政策のことです。図書館では、地方創生や地域活性に関する本のコーナーを準備中です。ぜひ、ご活用ください♪



## □ 『続・eスポーツ地方創生 新たな展開を見せ拡大し続けるムーブメントの未来』

(寛誠一郎／著、白夜書房／発行、2021年)

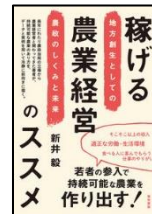
今年度、竹田高校の文化祭でもeスポーツが行われましたね。大変な盛り上がり、熱気でした！ 本書にはeスポーツによる地方創生の事例がたくさん載っています。p68～71には大分県の事例も載っていますよ。勉強をしないでゲームばかりしていると注意されてしまいますが、「ゲーム」には地域を活性化させる可能性があるようです！

## □ 『稼げる農業経営のススメ 地方創生としての農政のしくみと未来』

(新井毅／著、築地書館／発行、2021年)

## □ 『芸術文化と地域づくり アートで人とまちをしあわせに』

(古賀弥生／著、九州大学出版／発行、2020年)



## □ 『持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン』

(寛裕介／著、英治出版／発行、2019年)

## □ 『地域の食をブランドにする！ 食のテキストを作ろう』

(金丸弘美／著、岩波書店／発行、2018年)

## □ 『AI×地方創生 データで読み解く地方の未来』

(広井良典・須藤一磨・福田幸二／著、東洋経済新報社／発行、2020年)



新しい本が入っています。ぜひ、チェックしてください♪



# 1月12日は 1・2年生 百人一首大会！



## □ 『ホスト万葉集』

(手塚マキと歌舞伎町ホスト75人／作、

俵万智・野口あや子・小佐野弾／編、短歌研究社／発行、2020年)

百人一首ではありませんが、「現代の光源氏」と言えるホスト達の万葉集です。編者は俵万智ら、出版社は短歌研究社で、短歌の専門家が関わって作っています。「クローズアップ現代+」というNHKのニュース・報道番組でも取り上げられました。

「こういう世界、文化もあるのねー」、「短歌面白いなー、自分も作ろうかなー」と、楽しく読んでみてはいかがでしょうか。また、3年生になると古典の授業で「源氏物語」を勉強します。図書館には「源氏物語」コーナーもありますよ♪

図書館に百人一首コーナーを設けています。ぜひ、ご利用ください！

